星鹿の公営住宅、早期実現を

安江ゆう子市議は星鹿町の公営住宅早期実現に向けて質問しました。

星鹿の漁業従事者もできるだけ地元で子育てをしたいという方がたくさんおられます。漁業が継続できるためにも星鹿地区の公営住宅整備が求められています。

安江　1年前から星鹿町に公営住宅を整備していただきたいという市民の声があることをお伝えしていますが、その後、どういうふうになっていますか。

都市計画課長　現在星鹿地区の市営住宅の必要性については十分認識しています。

また、星鹿地区自治会連合会からも11月16日付けで市営住宅の建設の要望書をいただいたところです。

安江　星鹿町の公営住宅建設について、進捗状況としては星鹿地域にいろんな状況があって、公共の公営住宅が要るということまでは認識されている、場所もいろんなところがあるけれど、星鹿に市有地が残っていて、そこに建てるとするなら15戸ほど建てられる。そして、空き家があるのでその活用も考えている。

そういうところがいまの現状というふうに理解してよろしいですか。


星鹿地区

都市計画課長　いま申されたとおりです。市有地を使うとなると15戸程度旧星鹿保育所跡地にできるのではないかということと、空き家の利活用ということについて、次年度の予算でも少しお願いをしようと思っています。まずは空き家を再生しようと考えています。

原子力災害時の福祉施設避難計画の早期成立を

原子力災害時の福祉施設の避難について、県側の発表では松浦市の計画は出来ているとされていますが、その中身において具体策は全く決まっていません。


原子力防災訓練

現在、玄海原発には、広島・長崎の原発に換算すると87万発分といわれるほど多くの使用済み核燃料が保管されています。万が一のときには迅速かつ確実な避難が必要です。

安江ゆう子市議は福祉施設の避難先について質問しました。

安江　福祉施設の避難先に関して、市として今後どうやって行かれるつもりか伺います。

防災課長　福祉施設からの避難先についてはまだできておりません。今できているのは避難手順および情報の伝達等です。

安江　福祉施設の避難先が県の手にゆだねられているという状況で事故が起これば松浦市は本当に住めなくなると思いますが、この件に関して市長としてどうお考えですか。

市長　原子力災害が発生したとき、避難が最優先すべきですが、避難をする方々の受け入れ先がまだ調整中です。

安江　福祉施設と一言で申しましても、御厨の場合70名、星鹿でしたら90名近くの方がいらっしゃって、県が調整するといっても同じ施設の全員が同じ避難先とはならないのが現状ですよね。そういう余裕のある福祉施設があるはずないのですから。

ですから、何カ所かに分散するのはやむを得ないことで、それだけ、移動の車両や介護スタッフの手が必要になり、いろんなところでいろんな事が出てくると思いますし、そのときに長崎県だけの対応ではとても無理ということがあります。

長崎県に対していま現在、具体的にどのような事を言われておりますか。

防災課長　現在の福祉施設からの避難の課題と言いますのは、安江議員がおっしゃられたとおりまさに避難先と避難車両の問題と、1つの施設が丸ごと避難先として受け入れてもらえるわけではないということがあります。

こういうことを考えますと、まず、お願いをしていかなければならないのは、当然、避難先のマッチング、車両の確保、これを早急にお願いしていくこと、あわせまして県内だけでは収容しきれない部分については、佐賀県、福岡県を始め、近隣の県にもお願いをして、避難先の確保ができるように、県の方にもお願いをしていかなくてはならないというところで考えております。

いっしょうけんめい　安江ゆう子市議


11月29日　松浦ロードレース

1月4日　成人式


1月6日　西日本魚市仕事始め


1月7日　消防出初め式


1月10日　福島町一週駅伝大会

1月11日　松浦ウインドオーケストラ